様式１

倫理審査申請書

令和　　３年　　11 月　　17 日提出
年受付番号 179-241117

熊本リハビリテーション病院
倫理委員会委員長　様

代表申請者
所属：リハビリテーション部
職名：言語聴覚士
氏名：濵田雄仁　　印

所属長の印　椎田義美　印

下記の研究について倫理審査を申請します。

研究課題名
回復期脳卒中後の嚥下障害は退院時の運動機能と認知機能に関連する

共同研究者名	所属	職名
吉村芳弘	リハビリテーション科	サルコペニア・低栄養研究センター　センター長
嶋津さゆり	管理栄養科	栄養管理科長、サルコペニア・低栄養研究センター　副センター長
白石愛	歯科診療室	歯科衛生士
備瀬隆広	リハビリテーション部	理学療法士
長野文彦	リハビリテーション部	理学療法士
木戸善文	リハビリテーション部	作業療法士
葛原碧海	リハビリテーション部	理学療法士
松本彩加	薬剤部	薬剤師
砂原貴子	看護部	看護師
他　　０名		

概要（具体的に記載すること）

①審査対象（いずれかに○を）１．研究計画書　(2.) 学会発表原稿　(3.) 出版原稿　４．その他（　　）

②研究の背景と目的
本研究の目的は、回復期リハビリテーション病棟において、脳卒中患者の嚥下障害の有無が退院時の運動機能と認知機能との関連を検証することである。

③対象及び方法
2015-2020年に当院回復期病棟に連続入院した脳卒中患者を対象とした。嚥下障害はFood Intake LEVEL Scaleを(以下 FILS)用いて、6 以下を嚥下障害ありとした。アウトカムは退院時の Functional Independence Measure(以下FIM)の運動・認知項目とした。入院時の情報として、年齢、性別、FIM運動と認知、FILS、併存疾患指数、栄養状態、在院日数、サルコペニアの有無の９項目を調査した。入院時のFILS7未満と以上で2 群に分け、単変量解析を行った。また、調査項目を調整因子とし、重回帰分析(強制投入法)を用いて、嚥下障害と退院時のFIM運動、認知との関連について解析した。

④実施場所及び実施機関
熊本リハビリテーション病院　回復期病棟

⑤データ収集期間

2015年　1月　　～　　2020年　12月予定　デー食べ数を用いた後ろ向きコホート研究
⑥研究における倫理的配慮について（Ⅰ～Ⅲは必ず記載のこと） Ⅰ　研究等の対象とする個人の人権擁護　（　問題なし　） Ⅱ　研究等の対象とする者に理解を求め同意を得る方法　（　病院HPへの研究計画提示　オプトアウト　） Ⅲ　研究等によって生ずる個人への不利益並びに危険性　（　なし　） Ⅳ　研究等によって生ずる医学上の貢献の予測　（　あり　） Ⅴ　その他　（　　）